

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



未来の医療を支えます

独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
令和5年度 看護師特定行為研修 開講式



看護師特定行為研修第5期生

特集

看護師特定行為研修 第5期生を迎えて

- VOICE
- 医学シリーズ 血液内科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明



096-353-6565 096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

特集 看護師特定行為研修第5期生を迎えて

令和5年5月30日(火)、看護師特定行為研修第5期生の開講式が挙行されました。

今年度は6名の受講生が、救急領域パッケージ、創傷管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の特定行為を受講します。開講式では、ご来賓の方々をはじめ、多くの病院職員が見守る中、院長より受講生一人ひとりに受講許可証が手渡されました。

受講生は皆、各々が所属する施設の期待を背負い、就労しながら7ヶ月間の研修に臨みます。当院での研修が充実したものとなるよう精一杯支援したいと思っております。関係各所の皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、看護師特定行為研修が発足して、今年8年目を迎えます。その間、共通科目と区分別科目の受講時間が見直されたり、領域別パッケージを設けたりと、より多くの看護師が受講しやすいように省令が改正され

てきました。また、平成30年度の診療報酬改訂からは、該当する区分の研修修了者が評価されるようにもなりました。短期間でのこれらの省令改正は、国がいかに関心を持って特定行為研修修了者を養成しようとしているかを物語っています。

当院は、各分野に精通した指導医と研修修了者による丁寧な学習サポートを行っており、当院以外の受講生も受け入れております。「興味はあるけど、仕事との両立が心配」など、迷っていらっしゃる方、まずは、お気軽にお問い合わせください。

未来の医療を担う看護師特定行為研修に対する、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

看護師特定行為研修担当

橋口 清美



看護師特定行為研修生から

令和5年5月30日に第5期生の看護師特定行為研修の開講式が行われ、院内より2名他施設から4名が開講式に参加しました。私はこの7か月間の研修を通して、看護師として必要な病態生理の知識や臨床推論能力を身に付け、さらに看護実践場面で医師と連携を図りながら特定行為を習得し、早期の医療ケアを行っていくことで看護の質の向上につなげたいと考えています。

この研修に参加させていただき、学習の場を与えて頂いた病院長、看護部、職場のスタッフの方々に感謝し、日々努力をして自己研鑽に励んでいきたいと思っております。ご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

看護師 糸山 香織



令和5年5月30日看護師特定行為研修の開講式が行われました。熊本県看護協会の本会長や高橋院長から激励の言葉を頂き、受講生一同さらに士気が高まった開講式となりました。

私個人としましては、昨年よりICUへ異動となり、学習の機会としてこの特定行為研修のお話をいただきました。まだ業務も慣れない中、研修へ送り出してくださいました。看護部やICUスタッフの皆様への感謝を忘れず研修に取り組みたいと思います。特定行為研修を修了した際には、個人の知識・技術・精神面でのスキルアップを行い、患者さまへのタイムリーな介入やベッドサイドでの看護の質の向上につなげていきたいと考えています。

看護師 山下 寛知





医療法人社団郁栄会

北部脳神経外科・ 神経内科

理事長 院長 **伊東山** いとうやま **洋一** よういち



◆貴院のアピールをお願いします

開業して今年でちょうど20年となります。急性期脳疾患にも対応する北部脳神経外科・神経内科を中心に介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームを周囲に配置し、医療と介護の速やかな連携をテーマに頑張ってきました。急性期疾患から慢性期疾患まで、幅広く対応できる施設運営を目指しています。また、地域のかかりつけ医としての機能を果たす為、地域に密着した医療の提供を行い、今後は、在宅医療にも力を入れたいと思っております。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

年がら年中仕事をしているようですが、実は小学生、多趣味なのです。茶道（表千家）、合唱の練習をそれぞれ月に2回、法人外の方も交えて楽しんでおります。年末には介護老人保健施設かなこぎ苑で第九〈合唱〉に挑戦します。只今、団員募集中です。12月26日、ウクライナ交響楽団が来熊し第九をやりますが、それにも出演予定です。夏は田圃で米を作り掛け干し、冬は裏作で小麦を栽培、家庭用製粉機で粉に引き、ホームベーカリーでパンを焼いて楽しんでおります。野菜もほぼ自家栽培で、養鶏も始めて、なんか自給自足の縄文人みたいな生活です。



◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

当院では、大病院の負担を少しでも減らしたく、一次、二次救急に対応しております。それは、24時間断らない医療を推進される貴院あってこそであり、深く感謝しております。また、術後の患者さまや、リハビリテーションが必要な患者さまなど、逆紹介を積極的に受け入れておりますので、引き続き、顔の見える病診連携をよろしくお願いいたします。

【診療科目】

脳神経外科、脳神経内科、内分泌代謝内科、循環器内科

【診療受付時間】

平日、土曜日 9:00～18:00 (昼休みなし)
祝祭日 9:00～12:30

【休診日】

日曜日

【住所】

〒861-5511 熊本市北区楠野町 1067-1

【TEL】

096-275-2468

【FAX】

096-275-2466



最近のトピックス

貧血について

国立病院機構熊本医療センター
血液内科部長かわきた としろう
河北 敏郎

「貧血」と聞いて、立ち上がった時にフラットとする症状を思い浮かべる方は多いと思います。この症状、実は医学的な「貧血」とは少し異なります。医学的な貧血とは、赤血球とその中に含まれるヘモグロビンが正常より少なくなった状態を指します。ヘモグロビンは肺から全身に酸素を運ぶ働きをしますので、貧血では全身の臓器で酸素が足りなくなってしまう倦怠感(だるさ)、動悸、息切れ、むくみ、顔面蒼白などの症状が出現します。

貧血の原因として最も多いのは「鉄欠乏性貧血」で、赤血球、ヘモグロビンが造られるのに不可欠な材料である鉄が足りなくなって起こります。体で鉄が最も含まれるのは赤血球の中ですので、慢性の出血(赤血球、鉄の喪失)が続くと鉄欠乏に至ります。若い女性では毎月の月経が原因となっていることが多いものの、子宮筋腫や子宮がんが見つかることもありますので一度婦人科での検査をお勧めしています。貧血自体は鉄分を補うだけで速やかに改善しますが、50歳以上や男性では原因として消化管などのがんが隠れていることも多いため、鉄欠乏の原因となった背景の病気を見逃さないことが重要です。

貧血の原因として次に多いのは、血液以外の病気による貧血です。「慢性疾患による貧血」ではがん、感染症、膠原病(免疫異常)など様々な病気で体が消耗することによって貧血に至ります。貧血の改善には原因と

なった病気自体の治療が必要です。「腎性貧血」は腎臓で作られるエリスロポエチン(造血因子:体に“赤血球を造れ”という命令を伝える役割)が足りなくなることによって起こります。透析患者さまなど腎機能が低下した方でみられ、現在は従来の注射薬に加えて内服薬も登場しています。

貧血を起こす血液の病気は、再生不良性貧血、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、急性白血病など様々です。貧血全体に占める割合は少ないですが、長期入院を必要としたり命に係わる病気だったり、いずれもたいへんな病気ですので集学的な治療が必要となります。診療科としては血液内科が主体となって治療を行う病気で、当科では今も多くの患者さまがご家族、看護師、医師とともに病気と闘っておられます。

以上のように貧血には様々な理由があります。健康診断などで貧血を指摘された場合には、まずかかりつけの先生とご相談いただきながら、必要に応じて専門医での検査をお勧めします。

貧血の症状



息切れ



倦怠感(だるさ)



顔面蒼白



動悸



むくみ

など…

くまびょう TOPICS

6/13 (火) | 第126回 熊本大腿骨近位部骨折シームレス研究会の定例会が開催されました **研**

【筆者】運動療法主任：宮本 弘太郎



令和5年6月13日(火)、熊本機能病院の熊本健康体力づくりセンター 2F大ホールで第126回熊本大腿骨近位部骨折シームレス研究会の定例会が行われました。この研究会は、2003年10月に始まり、地域連携パスを通じて大腿骨近位部骨折の治療成績と患者のQOL向上を目指すために設立されました。毎年3月に1回の定期研究会が開催され、参加施設が持ち回りで会場を提供しています。今回は熊本機能病院が会場となりました。久々の現地開催で、約150名の参加者があり他の病院の先生方から、大変興味深い発表が3件ありました。当院リハ科も地域連携パスにおいて大腿骨近位部骨折の治療に貢献できるよう、これからも努力してまいります。また、熊本大腿骨近位部骨折シームレス研究会は、10月頃に20周年記念講演が予定されています。当院も参加予定ですので、ご支援いただければ幸いです。

【場所】熊本機能病院



7/2 (土) | 第37回臨床薬理セミナーが開催されました **薬**

【筆者】副薬剤部長：小園 亜希



令和5年7月2日(土)、地域医療研修センター及びWEB配信(Live)において、第37回臨床薬理セミナーが開催されました。『災害時、医療者のあなたにできること』をテーマに、薬剤師の災害医療への関わりについて、モバイルファーマシー(MP)を利用した災害支援、自衛隊熊本地方協力本部より災害派遣活動についての3講演が行われました。災害現場が広範囲となる大規模災害では、薬剤師の支援を必要とする地域や各地域で不足している医薬品を把握することが難しいこと、また、確保した医薬品が廃棄されることが多いなどが報告されました。そのため、医薬品急配対応、MP手配と配置、支援薬剤師のスケジュール管理等を行う災害薬事コーディネーターという重要な役割があることを学びました。災害派遣活動は、過去の災害経験をもとに訓練を繰り返し行うことが大切であると感じました。「平成28年熊本地震」から7年、「令和2年7月豪雨」から3年が経過しました。過去の経験を忘れず、医療人として常に備えておくことが必要であると考えます。今回、126名(WEB参加101名)の先生方の参加がありました。お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。

【場所】地域医療研修センター2F 研修ホール



6/7 (水) | 熊本保健科学大学からの病院見学 **事**
7/6 (木) | 受け入れについて

【筆者】管理課長：内栞 保雄一



令和5年6月7日(水)と令和5年7月6日(木)に熊本保健科学大学の海外交換研修で来日されているタイのコンケン大学及び韓国の大邱(テグ)保健大学の学生さん達が、「日本における高度医療・救急医療機関の機能及び施設整備の実際を知る」目的で当院へ見学に来られました。救命救急センター及びリハビリテーション科、臨床検査科では、色んな設備機器等を見学され、日本と自国の病院におけるシステムの違いを感じながらたくさん質問をして真剣にメモを取っておられました。看護師を目指す韓国の学生さんは、「日本語をたくさん勉強して、日本で看護師として働きたい」と将来の目標を話してくれました。今回の見学が、学生さん達の充実した研修の一助になれば幸いです。

【場所】救命救急センター等



6/16 (金) | スペシャルランチ ~オリジナルソース2種~ **栄**

【筆者】管理栄養士：平江 由里



昨年度実施したソースレシピコンテストから「アップルソース」「クリームチーズソース」を提供しました。アップルソースは管理栄養士養成校の実習生が、クリームチーズソースは当院調理師が考案しました。本日昼食の選択メニューとして、チキンオープン焼きに添えて提供しました。ソースをチキン・野菜・パンに付けたり、ミックスしたり、食べ方次第で様々な味わいがあります。ソース以外にも、手作りパンや紫陽花パンナコッタなど1品1品の献立に力を入れたスペシャルメニューです。

【場所】熊本医療センター 昼食

研修医レポート

臨床研修医

さかうえ りょうめい
坂上 諒明



こんにちは。研修医1年目の坂上諒明と申します。鹿児島大学医学部を3月に卒業し、4月より熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいています。4月からの社会人としての生活は、学生時代の生活とは全く異なり日々かなり疲れますが、その分充実した日々を送ることができていると感じています。

私は腎臓内科から研修が始まりました。初めは、電子カルテの使い方やオーダーの出し方など基本的なことが全く分かりませんでし

たが、腎臓内科の先生方に一からいろいろと教えていただきました。先生方も忙しい中、分からないことを聞いたら基本的なことでも優しく丁寧に教えていただきとても感謝しております。具体的な業務としては、透析患者さまや腎機能の悪い患者さまの診察・治療に参加させていただきました。透析患者さまや腎機能の悪い患者さまの体液や電解質の管理、薬の量の調整などを詳しく学ぶことができました。また、腎臓内科ではシャント手術やP T A（経皮的血管形成術）に参加します。内科的な治療だけでなく、外科的な手技も学ぶことができました。学生の頃とは違い、実際に手技をやらせていただくことも多く、日々成長できる恵まれた環境で研修できることを非常にありがたく思っています。

日々の診療科の研修に加え、救急外来での当直もスタートしています。最初は、救急搬送される患者さまに対して何をしていたか分からず、自分の無力さを痛感させられました。先生方やスタッフの方々にご指導いただきながら一つずつできることを増やしていきたいと思

います。
ご迷惑をかけることもありますが、日々精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

臨床研修医

しげまつ はるか
重松 晴香



こんにちは。研修医1年目の重松晴香と申します。熊本大学医学部を卒業し、新社会人としての生活が始まり3か月が経とうとしています。診療科研修、救急外来研修、基本的手技の研修やセミナーなど様々な研修があり、学びの多い日々を過ごしております。はじめは病院の構造やカルテの見方、オーダーや連絡の仕方などわからないことだらけで、先生方、スタッフの方々に助けていただきました。お忙しい中丁寧に教えて頂き、心から感謝する毎日です。また、自分でできることや学ぶことが少しずつ増えていき、とても充実した楽

しい研修生活を送ることができています。

私は呼吸器内科から研修が始まり、現在は血液内科にてお世話になっています。いずれも内科的病棟管理を中心にご指導いただいております。学生のころとは違う観点から多くのことを考える必要性を実感する毎日です。呼吸器内科では胸腔穿刺やCV挿入、血液内科では骨髄穿刺やPICC挿入などの手技も経験することができました。熱心にご教授くださる指導医の先生方や環境に恵まれてもありがたく感じています。診療科研修と並行して救急外来での研修も始まりました。より幅広い疾患にふれることができる点はとても勉強になり、一歩ずつスキルアップできるよう努力したいと思います。

まだまだ不慣れなことが多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、より多くのことを学びみなさまのお役に立てるよう日々頑張りたいと思います。これからもどうぞよろしくおねがいたします。

臨床研修医

なかむら のぶき
中村 暢希



こんにちは。研修医1年目の中村暢希と申します。生まれてからずっと熊本に住んでおり、熊本大学医学部を卒業しました。4月から熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。

私は麻酔科から研修が始まりました。麻酔科の先生方に手厚く指導していただき、とても充実した臨床研修のスタートを切ることができました。末梢静脈路確保、気管挿管、脊髄くも膜下麻酔、動脈ライン確保などなど様々な手技を教えていただきました。見ているのと実際に行うのでは難易度が異なり、簡単そうにやっている先生方がいかに凄いかを毎度実感していました。それでも、6週間緊張

で手を振るわせながら手技を行ううちに、段々と自信をつけることができました。これからも日々精進して、なるべく患者さまの負担が軽くなる手技を身につけたいと思っています。

また、麻酔科研修を終えた後に糖尿病代謝内科で研修をさせていただいております。打って変わってカルテを書いたりなどの病棟業務が増えたため、分からないことばかりで大変ご迷惑をお掛けしました。しかし、先生方をはじめ、皆さん丁寧に教えていただけて少しずつ病棟業務に慣れていきます。また、入院されている患者さまの血糖管理についても日々学ばせていただいております。実際に治療する立場にならないと分からないことが沢山あり、発見の連続で充実した毎日を送っています。これからあと数週間で先生方の治療を見ながら、より多くのことを身につけたいと思っています。

これからの2年間、ご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

2023年8月 研修のご案内

二の丸モーニングセミナー

日時▶ 8月3・24・31日（木）8：15～8：45
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

第197回救急症例検討会

日時▶ 8月23日（水）18：00～19：30
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「小児科救急疾患」

研修へのお問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター（096）353-3515（直通）

研修センター
QRコード▶



令和5年度「診断と治療 —最新の基礎公開講座—」下半期開催予定

土曜日 15:00～17:30

（当講座は日本医師会生涯教育講座として認定予定です）

令和5年9月9日（土）	第64回「パーキンソン病治療の最前線」
令和5年10月28日（土）	第65回「パンデミックからの学びと備え」
令和5年11月4日（土）	第66回「出血性疾患の鑑別と治療」
令和5年12月16日（土）	第67回「CKDの最前線」
令和6年1月13日（土）	第68回「アレルギー性鼻炎 その診断と治療 ～患者さんの快適な明日のために for comfortable living～」
令和6年2月3日（土）	第69回「創傷治療の実際」
令和6年3月16日（土）	第70回「関節痛」

患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX 096-353-6563



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和5年8月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 中村 真久	古川 翔大 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 博之 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 最勝寺 英美 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)	
	感染症内科	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	東 大樹	富田 正郎	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	東 大樹	富田 正郎	
	腫瘍内科	梶原 健吾	榮 達智	榮 達智 磯部 博隆	境 健爾 (第1・第3・第5木曜のみ)	榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	診察	1 診	石井 将太郎	杉 和洋	杉 和洋	向坂 健佑	
		2 診	松山 太一	中田 成紀	石井 将太郎	中田 成紀	
		3 診	山本 祐弥	向坂 健佑	佐々木 大亮	楠本 周平	
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮 楠本 周平	松山 太一 佐々木 大亮 山本 祐弥	山本 祐弥 山本 祐弥 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑	石井 将太郎 山本 祐弥 山本 祐弥
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮 楠本 周平	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥 楠本 周平	中田 成紀 松山 太一 山本 祐弥 楠本 周平	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 佐々木 大亮	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
		腹部超音波	杉 和洋	楠本 周平	向坂 健佑	山本 祐弥	杉 和洋
		心臓血管センター (循環器内科)	新患	木村 優一 山村 智	奥野 佑樹 (隔週) 玉野井 俊介 (隔週)	片山 哲治	田山 信至
再来	田山 信至	藤本 和輝	山村 智	奥野 佑樹 玉野井 俊介 白尾 友宏	片山 哲治 木村 優一		
(心臓血管外科)	手術日	岡本 健	田中 睦郎	手術日	岡本 健		
精神・神経科	初めの方						
	2回目からの方						
小児科	診察	水上 智之	渡邊 優	水上 智之	水上 智之	渡邊 優	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液	石田 昌宏				石田 昌宏	
	アレルギー		渡邊 優		緒方 美佳		
外科	東 孝曉 日高 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 克孝 中村 健一	岩上 志朗	宮成 信友 松石 梢	久保田 竜生 丸野 正敬		
脳神経センター (脳神経外科)		中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	田嶋 恒三 大塚 忠弘	中川 隆志	伊東山 剛 大塚 忠弘	
	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	
	2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕	
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		大島 慶久		満瀬 葉介 中馬 東彦	
泌尿器科	前田 喜寛 矢野 大輔	菊川 浩明 鮫島 智洋 村上 栄敏	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 矢野 大輔 東 俊之介	高橋 菊川 えりか / 担当医		
産婦人科	高木 みか 坪木 純子	山本 直 匂坂 紗乃代	手術日	高木 みか 坪木 純子	山本 直 匂坂 紗乃代		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 寺田 夕希	手術日	担当医	上村 尚樹 寺田 夕希		
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	中原 智史	牧野 公治	石橋 卓行	担当医	哈 斯塔 (ハスタ)	
	再診 (初診 その他)	中原 智史 石橋 卓行	牧野 公治 哈 斯塔 (ハスタ)	中原 智史 石橋 卓行	担当医 (手術日)	牧野 公治 哈 斯塔 (ハスタ)	
形成外科	難治性皮膚疾患治療センター 月・水・木のみ、午前10時～、1日1例限定 詳細は、熊本医療センター皮膚科 Web サイトをご覧ください。						
放射線科	治療 (予約制)	富高 悦司、吉村 文博					
	画像診断	根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、神戸 あゆみ、吉村 文博、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)					(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)	
緩和ケア外来	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科	中島 健 谷口 広祐 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 (隔週) 中尾 美文 天本 晋輔 (隔週) 上田 夏野	谷口 広祐 中尾 美文 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 天本 晋輔		
救命救急センター	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 山田 周 國友 耕太郎 吉村 文孝 吉村 文孝 深水 浩之 杉野 大樹 大本 寛之	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 山田 周 國友 耕太郎 久保崎 順子 深水 浩之 杉野 大樹 大本 寛之	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 山田 周 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹 大本 寛之	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 山田 周 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹 大本 寛之	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 山田 周 深水 浩之 宮内 大介 杉野 大樹 大本 寛之		
看護外来	ストーマ	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	がん看護	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	移植後フォローアップ	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	

(注) 担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R5/8/1